

## 「指導と評価の一体化」のための

### 学習評価に関する参考資料（中学校 国語）の活用ガイド

本ガイドは国立教育政策研究所の参考資料をもとに、先生方が授業を行うに当たり検討する、指導と評価の計画立案の参考となるよう、神奈川県教育委員会・市町村教育委員会の指導主事の協働で作成したものです。

#### ○掲載項目（事例4）

- 1 単元目標を設定する
- 2 単元の評価規準を設定する
- 3 指導と評価の計画を立てる
- 4 観点別学習状況評価の進め方

「知識・技能」の評価

「思考・判断・表現」の評価

「主体的に学習に取り組む態度」の評価

・評価規準 ・評価の方法と生徒を見取る際のポイント ・評価の例

掲載事例以外の単元でも、本ガイドに掲載されたポイントを参考に、日々の学習指導と評価の充実に向けた授業改善に努めましょう！

#### ○活用ガイドのポイント

- ・事例をもとにして、単元目標と指導と評価のつながりを解説しています（1～4）
- ・「知識・技能」と「思考・判断・表現」の評価を明確化して、示しています（4）
- ・振り返りシートをどのように見取り、「主体的に学習に取り組む態度」を評価しているか解説しています（4）

# 中学校 国語 事例を通した評価の具体例

## 国語科

- キーワード
- ・ 「知識・技能」と「思考・判断・表現」の評価の明確化
  - ・ 学習の振り返りの活用

## 単元名

### 清少納言と自分のものの見方や考え方を比べる

第2学年 C 読むこと

## 内容のまとめ

### 第2学年

〔知識及び技能〕 (3) 我が国の言語文化に関する事項

〔思考力、判断力、表現力等〕 「C 読むこと」



「指導と評価の一体化」のための  
学習評価に関する参考資料」

# 1 単元の目標を設定する

学習指導要領から授業者が指導事項を選ぶ  
指導事項を基に目標を設定する

- 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、**古典に表れたものの見方や考え方を**知ることができる。

〔知識及び技能〕(3)イ

- 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、**自分の考えを広げたり深めたり**することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)才

- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、**思いや考えを伝え合おう**とする。

〔学びに向かう力、人間性等〕

これらの目標を基にして「**単元の評価規準**」（次ページ）を作る

## 2 単元の評価規準を設定する

規準を明確にして、評価の仕方や学習の単元計画を決める

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を <u>知っ<u>て</u>い<u>る</u></u> 。 <u>（(3)イ）</u>	①「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたり <u>し<u>て</u>い<u>る</u></u> 。 <u>（C(1)オ）</u>	①積極的に古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習の見通しをもって自分の考えを説明し <u>よ<u>う</u>と<u>し</u>てい<u>る</u></u> 。

**文末**を「…している。」として作る

※育成したい資質・能力に照らして指導事項の一部を用いて作成することもある

**文末**を「…しようとしている。」として作る

- ①粘り強さ
- ②自らの学習を調整する
- ③他の2観点において重点とする内容
- ④当該単元の具体的な言語活動

※①～④を含め、設定する

# 3 指導と評価の計画を立てる

## 第1時

清少納言のものの見方や考え方について知ったことを簡潔にノートに書く

[知識・技能]評価

## 第2時

振り返りシートを書く

[主体的に学習に取り組む態度]評価  
(指導にいかす評価)

## 第3時

清少納言と自分の考え方を比較して、考えたことをノートに書く

[思考・判断・表現]評価

振り返りシートを書く

[主体的に学習に取り組む態度]評価

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『枕草子』について、小学校での学習を想起するとともに、映像資料を視聴するなどして概要を理解する。</li> <li>○ 第一段を読み、清少納言のものの見方や考え方を知る。</li> </ul>	[知識・技能] ①	ノート
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「うつくしきもの」を読み、清少納言のものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方と比べる。</li> </ul>	[思考・判断・表現] ①	ノート
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 提示された「ものづくし」の章段からグループで一つ選んで自分たちの考えと比べながら読み、清少納言のものの見方や考え方について意見を述べ合う。</li> <li>○ 清少納言と自分のものの見方や考え方を比べて考えたことをまとめる。</li> <li>○ 各自でまとめた内容をグループで共有し、代表者がその内容を発表する。</li> </ul>	[主体的に学習に取り組む態度] ①	振り返りシート 観察

振り返りシートの記述と観察から総合的に「主体的に学習に取り組む態度」の評価を行う。

各観点の学習をいつ評価するか（記録に残す評価）

第1時

知識・技能

第3時

思考・判断・表現

第3時

主体的に学習に取り組む態度

この単元では、[知識・技能]の指導事項は、[思考・判断・表現]の「C読むこと」と関連付けて指導する。  
このような場合には、**単元の中で、何を「知識・技能」として評価し、何を「思考・判断・表現」として評価するかを明確にしておく必要がある。**

知識・技能 の評価

## 評価規準

現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、**古典に表れたものの見方や考え方を知っている**。(3)イ

## 評価の方法と生徒を見取る際のポイント

方 法 : ノートの記述

ポイント: 現代語訳や解説を生かしながら、「枕草子」を読むことを通して、**古典に表れたものの見方や考え方を知っているか**。



【キーワード】 言葉や文を踏まえた**清少納言のもの**の見方や考え方の**発見**が記述にあるか

## 「おおむね満足できる」状況（B）と評価する例

生徒Xの記述



清少納言は、虫について単にきれいだと言うのではなく、『ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行く』様子を捉えて『をかし』と言っている。『日常の小さな出来事を細かく見て、その変化を楽しんでいる感じがする。』

### 記述

作品の内容を踏まえて言葉を捉え、「日常の小さな出来事を細かく見て、その変化を楽しんでいる」と、清少納言のものの見方や考え方を説明している

清少納言のものの見方や考え方の発見

記述が【キーワード】に該当

↓  
「おおむね満足できる」状況

↓  
（B）と評価



思考・判断・表現 の評価

## 評価規準

「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)才)

## 評価の方法と生徒を見取る際のポイント

方法 : ノートの記述

ポイント : 自分の知識や経験を踏まえて清少納言と自分のものの見方や考え方を比べられているか

【キーワード】 知識や経験を踏まえた、清少納言と自分のものの見方や考え方の比較

比較することで、  
自分の考えを広げたり、  
深めたりしているか

## 「おおむね満足できる」状況 (B) と評価する例

生徒Xの記述



私も清少納言と同じような経験をしたことがあります。つい先日のことですが、体育の授業で、私ではなく違う人が呼ばれたのに、自分が呼ばれていると勘違いして「はい」と大きく返事をしてしまいました。周りの目が気になり、きまり悪く感じました。清少納言も、私たちのように現れ方と同じ感覚で「はしたなきもの」を感じていて、ものの方という点では、私の感覚ととても近いと思いました。日常のささいなことの中で同じ思いをしているので共感できました。

しかし、清少納言のように、「泣き顔つくる」ことを、私はしません。日常会話の中で、あまりしみじみとした話をしたことがないからかもしれません。私は、泣けないときには無理に涙を流さないと思います。人との接し方については、私と清少納言とは考え方に違いがあると思います。

### 記述 1

体育の授業で同じような経験をしたことを書き、清少納言と比較して、「同じ思いをしている」と共感している。

### 記述 2

「泣き顔つくる」ことについて、清少納言と自分との考え方に違いがあることを説明している。

清少納言と自分のものの見方や考え方の比較

記述 1, 2 が【**キーワード**】に該当

↓  
「おおむね満足できる」状況

↓  
(B) と評価

## 「十分満足できる」状況（A）と評価する例

生徒Zの記述



「はしたなきもの」を読んで、まず思ったのは、「きまりの悪い」思いをするという点では、私も清少納言も同じだということだ。私も、小学生のとき、先生と会話をしている、何気なく先生のことを「お母さん」と言ってきたり、悪い思いをしたことがある。また、しみじみという感覚とは異なるかもしれないが、必死に練習したのに試合で負けてしまったときは、キャプテンだからチームメイトの前では泣きたくても泣けないことがある。

今回、グループで話し合う中で、「泣きたいときは泣けばいいし、泣きたくないときには泣かなくてもいい。感性は人それぞれ自由であるべきだ」という意見が出て、私は肯定されたようで安心した。しかし、改めて「はしたなきもの」を読み直してみると、「きまりの悪さ」について①私は常に自分を中心に考えているのに対して、清少納言は、周りの人を知りかたきと観察して判断していると思っ②た。清少納言は「相手はどう思うか」を考えた上で、「相手に対して申し訳ない」という意識を強くもっているのではないだろうか。

### 記述 1

経験を踏まえて、清少納言と自分を比較し、「同じだ」と共通点を見いだして説明している。

### 記述 2

「改めて『はしたなきもの』を読み直し」、①考えを深めているとともに、清少納言について、②新たな視点で考察している。

清少納言と自分のもの  
の見方や考え方の比較

- ・ 記述 1 が【キーワード】を満たしている
- ・ 記述 2 から質の高まりが見取れる

- ① 考えの深まり  
「私は常に自分を中心に～判断していると思った。」
- ② 新たな視点の獲得  
「清少納言は『相手はどう思うか』～意識を強くもっているのではないだろうか。」

「十分満足できる」状況

(A) と評価

## 「努力を要する」状況（C）にある生徒への支援例

生徒の記述



・自分の知識や経験を踏まえて、自分の考える「にくきもの」、「はしたなきもの」、「うれしきもの」は挙げている。

・清少納言のものの見方や考え方と結び付けて考えていない

・記述からも清少納言のものの見方や考え方の結びつけを明確に読み取れない。

清少納言と自分のもの方や考え方の比較

【キーワード】に該当しない

教員の支援



まず、清少納言にとっての「うれしきもの」を具体的に取り上げてみよう。

そして、自分の感じ方との共通点や相違点を整理してみよう。

上記のように、清少納言と自分との比較を通して、自分の考えが深まるような助言をすることが考えられます。

主体的に学習に取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度の評価

## 評価規準

積極的に古典に表れたものの見方や考え方を知り，学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。

第1時の学習活動（知識・技能）

清少納言のものの見方や  
考え方を  
知る

第2・3時の学習活動（思考・判断・表現）

清少納言と自分のものの  
見方や考え方の  
比較する

言語活動とリンクする

## 評価の方法と生徒を見取る際のポイント

方法：  
・振り返りシートの記述を見取る  
・学習状況の観察

ポイント：評価規準を意識して、振り返り項目を設定する

- ・第2時の項目【前時までに学習したことで、本時の学習に役立ったこと】
- ・第3時の項目【本単元で課題を解決するために試行錯誤したこと】

項目の例はP71

# 4 観点別学習状況評価の進め方

主体的に学習に  
取り組む態度

## (B) と評価する例

第2時



生徒X 振り返りシート

(第2時)

○前時まで学習したことで、本時の学習に役立ったこと。

1時間目の授業を受けて、清少納言のものの見方や考え方をどう捉えればよいのか大体分かっていたので、今日は現代語訳をそういう観点で読んでいった。原文が書いてあったので、今の言葉との違いも見付けながら考えた。

教員の観察

授業でも、進んで原文を確認し、学習を進めている様子が観察できた

第3時



生徒X 振り返りシート

(第3時)

○本単元で課題を解決するために試行錯誤したこと。

清少納言と自分のものの見方や考え方の特徴を説明するのが難しかったので、共通点と相違点をいくつか書き出したり、友達に説明して意見を聞いたりした。

教員の観察

積極的に学習課題について考えている様子が観察できた

第2・3時の「振り返りシート」、「観察」から「おおむね満足できる」状況（B）と判断

「十分満足できる」状況（A）と評価する例

生徒 振り返りシート



（第3時）

○本単元で課題を解決するために試行錯誤したこと。

生徒の記述

- ・「他グループの意見交流の内容を聞きにいった」
- ・「グループで選んだ章段以外も読み、清少納言と自分のものの見方や考え方を比べてみた」  
などの内容

P48「Aと判断するポイントの例」から「興味の広がり」, 「応用・活用の意識」と捉え、  
（A）と評価できる

- ・速やかさ
- ・丁寧さ
- ・集団への寄与
- ・興味の広がり
- ・応用・活用の意識 など

P48

「努力を要する」状況（C）にある生徒への支援

生徒 振り返りシート



教員の支援

（第2時）

○前時までに学習したことで、本時の学習に役立ったこと。

「・・・・・・・・」（生徒、記述できない）

- ・ 清少納言と自分の考え方を比べ、考えたことを説明する言語活動の内容を確認させる
- ・ 各時間における学習の進め方を確認させる
- ・ 次時に向け、見通しをもって主体的に学習を進められるように指導する



（第3時）の振り返りシートに、第1時から第3時までの学習を通して、試行錯誤した内容を記述させ、積極的に学習課題に取り組もうとしている姿勢を見取る。